

(食料品)

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比+3.2%、前年同月比+11.7%。売上高は前月比+1%、前年同月比+10.8%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

コストが上昇している。他都市でいわれているインバウンド特需は特に感じられない。

(繊維・衣服)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

当月は売上が前月比で減少した。8月や9月は閑散期に入るため、売上増加の見通しが立たない。さらに、金利上昇による影響も懸念される。

広島県アパレル工業組合

猛暑により、空調服の売上が好調である。

山陽テクノ協同組合

市場には海外製品が多く流通しており、国内メーカーの業況は悪化している印象。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

5月の新設住宅着工戸数は43,237戸で前年同月比▲34.4%、季節調整済年率換算値では529千戸(前月比▲15.6%)となった。利用関係別では、持家は11,920戸で前年同月比▲30.9%、貸家は18,893戸で▲30.5%、分譲住宅は11,924戸で▲43.8%、また木造住宅は24,563戸で前年同月比▲31.2%であった。住宅着工動向の前年同月比は、持家、貸家及び分譲住宅とも2ヵ月連続の減少となった。木造住宅についても2ヵ月連続の減少となった。

【広島県】

4月の新設住宅着工戸数は893戸で前年同月比▲27.0%、うち持家は179戸で▲40.9%、貸家は493戸で7.9%、分譲は221戸で▲42.4%であった。県全体の住宅着工戸数の前年同月比は減少し、延床面積も前年同月比▲35.5%となっている。

今後も、為替の変動により木材価格が不透明な状況が続くことや、地価の上昇、物流費の上昇等により住宅の高価格化が進む要素もあり、木材需要の先行き見通しは厳しいと予想される。

福山木材協同組合

改正建築基準法に基づく確認検査の厳格化の影響からか、例年よりも建築確認に時間を要し、着工に遅れが生じている印象。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

材料費や人件費などの上昇が収益を悪化させる中で、業界全体として「価格の適正化、不合理な取引の是正」を推進しており、官公需の印刷物発注における入札制度改革などに取り組み始めた。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から業況に大きな変化は見られない。製造現場の暑熱対策、CO2排出量削減、AIを駆使した検査方法、倉庫内在庫の改善など取り組まなければいけないことが多い。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

受注の低迷が続いており、今後の見通しも悪く大幅な上振れは期待できないため、稼働日数・時間の調整なども必要である。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

・出荷状況

令和7年06月 2, 143 m³ (前年比104%)

令和7年05月 2, 127 m³

令和6年06月 2, 063 m³

・令和7年度想定数量 700, 000 m³

広島県西部砕石協同組合

業況は低迷している。今年度に入ってから特に需要が減少している。

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比+14.5%、前年同月比▲49.6%となった。米国による関税措置の影響が懸念される。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

売上は前月比+5%、前年同月比+9%となった。

●鉄鋼業

(鉄鋼業)

靱鉄鋼協同組合連合会

6月からの「熱中症対策の義務化」により、当面は生産性の低下が懸念されるが、社員の健康管理の観点から、必要不可欠である。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

マツダの生産は主力市場である米国市場の追加関税により、売上減少等が懸念される一方で、全体生産台数の維持(70万台)を掲げている。

(6月度自動車国内販売動向)

全需は359千台、前年同月比+4.3%と6ヶ月連続で増加。(登録車は+0.6%、軽自動車は+10.3%と共に増加。)マツダ車は全体で+22.4%と増加。(登録車+40.8%(9.1千台)、軽自動車▲16.1%(2.6千台))

(5月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,475千台で、前年同月比+2.0%と3ヶ月連続で増加。マツダは▲18.6%と、前年同月比は11ヶ月振りに減少となった。

欧州の全需は1,193千台で、前年同月比▲1.3%と減少した。マツダも▲22.7%と2ヶ月連続で減少した。

中国の全需は1,800千台で、前年同月比+8.0%と3ヶ月連続で増加した。マツダは▲8.4%と2ヶ月連続での減少となった。

マツダの5月の海外販売は、関税前の駆け込み需要が終わり、欧州やアジアも落ち込んだため、合計台数は83千台、前年同月比▲10.5%となった。

(5月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は全体的に減少し、前年比▲4.9%と4ヶ月連続で減少。また、国内生産台数も、前年同月比▲13%と減少した。

●輸送用機械器具 (造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和7年5月の船舶建造許可実績は3隻、87,700総トンであった。(前月1隻25,200総トン、前年同月2隻153,400総トン)なお、内訳は、国内船が1隻で貨物船、輸出船が2隻で貨物船であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業 (総合)

協同組合広島総合卸センター

物価高により個人消費が停滞している中で、季節や天候の影響を受ける商品の価格変動が大きく、在庫調整も大きな負担となっている。また、多くの事業者が資金繰りに苦慮する事態が続くことが予想される。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

当月の売上状況は、前年同月・前月比ともに横ばい状況。市場の動向が不透明な状況の中、公共施設のLED化の取り組みが本格化してきており、学校施設だけでも膨大な数量が求められている状況にあるため、秋口から年度末にかけてLED照明器具の不足も懸念される。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・6月度中央市場水産部は、消費の低迷が続き、鮮魚の入荷も低調であったため、市場自体の取扱高は減少した
- ・広島の夏を代表する食材である小イワシが6月10日に漁の解禁となったが、不安定な水揚げが続いたことで価格相場が下がっている
- ・6月度中央市場青果部は、取扱高が前年比103%となったが、果物の取扱数量は輸入物を除き多くの品目で減少している

協同組合三次ショッピングセンター

施設売上は前年比111%、客数は前年比107%と増加した。主に食料品店、次にサービス系の順番で売上が伸び続けており、その他の専門店も前年並みとなっているが、仕入価格や人件費などの上昇が収益性を悪化させているため、安心はできない状況である。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和7年6月度販売実績89%（前年同月比）。AV商品85%、白物商品96%、薄型テレビ88%（内有機EL66%）、DVD61%、冷蔵庫92%、洗濯機85%、IHクッキングヒーター102%、エコキュート91%、エアコン99%、炊飯器107%、電子レンジ99%、掃除機100%。

販売会社の専門店支援が弱くなってきており、製品の品切れも多く、販売店は困惑している。

●商店街

呉本通商店街振興組合

広島県商店街振興組合連合会による令和7年度商店街人材養成研修事業として専門家3名を招き、計4回に渡る勉強会を開催した。内容については、当組合理事長が次回理事会（7月）にて報告し、各組合員の今後の活動に活かすことを検討している。

広島金座街商店街振興組合

前年同月の来街者と比較して微増したが、売上は減少した。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比+31.7%、前年比+5.3%
- ・車検場収入は、前月比+33%、前年比+6.1%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比+22.2%、前年比+16%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

前月比では全体の売上が増加したが、一部の事業者には偏っていると感じる。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

当月は、前月・前年同月共に著しく数値が低かったことにより、カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、前月比223%、前年同月比163%となった。物件数については店舗、マンション、住宅ともに低調である。

福山地区電気工事業協同組合

当月の受注件数は、243件と前年同月比で110%であった。一昨年・昨年は官庁関係の受注があり件数が増加したが、今年度は苦戦する見通し。

神辺建設業協同組合

物価高騰が続き、業況は停滞している。今後の見通しも悪い。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・当月の売上高は、前月比、前年同月比ともに増加となった
- ・軽油価格に関しては、中東情勢の緊迫化の影響による原油価格高騰により、値上がりとなった

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高年齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・当月は一般鑑定業務が減少したため売上と収益がやや減少した。今年度は固定資産評価の公的評価作業がある分収入は増加する見込み
- ・不動産市場については、住宅建築に関して建築基準法の改定により審査基準が厳しくなったことによる、建築申請書類の厳格化により、書類申請の遅延が発生している
- ・マンション販売についても、新築マンションは価格高騰により、売れ行きが低調になってきている。さらに、中古マンションについても依然として販売価格が高止まりしている